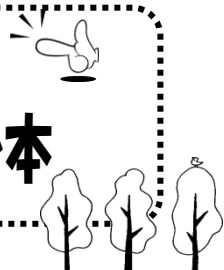


推薦図書

図書委員がすすめる
読んで得するテッパン本



2年

『雨の塔』 宮木 あや子著

資産家の娘だけが入学できる陸の孤島の学園で暮らす4人の少女の物語です。自由と情報が与えられない閉ざされた世界で、家の為の“駒”として使われる日を待つだけの4人に、愛情や関心、嫉妬、執着などの感情が芽生えていくところが面白いです。(26H 吉多)

『六百六十円の事情』 入間 人間著

それぞれの事情がからみあってひとつの物語になっている所がおもしろい。ちいさくて、だけど本人にとっては大切な事情が短編集のような形でつづられています。「カツ丼作れますか。」の問いで始まる物語です。(26H 山岸)

『あなたがあなたであるために』

高橋 仁著

エステサロンのミュゼの社長さんが書いた本です。自分の実体験が書いてあり、今の自分をもっと見つめなおすことができる本です。この本を読み終えた後は、きっと何かが変わっているはず。とてもためになる本なのでオススメです！(22H 箕輪)

『死亡フラグが立ちました』

七尾 与史著

荒唐無稽な設定や前提的にコミカルな話運びはテンポもよくてスムーズに読めます。死神が色々な罠を作ってターゲットを殺そうとするのがすごいと思いました。(23H 土倉)

『レイクサイド』 東野 圭吾著

中学受験合宿の為、湖畔の別荘に集まった四組の家族。その途中、夫の愛人が殺され、妻が犯行を告白し、死体を湖に沈め事件を葬り去ろうとします。子どものことを思うがゆえの親の行動が書かれていて面白かったです。本を読むのが苦手な人でも読みやすい作品だと思います。(26H 吉居)

1年

『ラブレイン』 オ・スヨン著

ドラマでやっていたため読みやすいです！(11H 飯田)

『GOSIK』 桜庭 一樹著

ひよんなことから、豪華客船に乗り込み、事件に巻き込まれた主人公久城と小さな不思議少女ヴィクトリカ。クライマックスの場面でヴィクトリカが久城に普段は言わないようなことを言います。その台詞がとても心に響きます。是非読んでみてください。(15H 橋本)

『人たらしのブラック心理学』

内藤 誼人著

20万部を突破している人気の本です。意外なことがたくさん書いてあり、おもしろいです。(13H 池野)

『ポッコちゃん』 星 新一著

ありそうでないショートショート日常やまったくの空想世界にわくわくします。おもしろいです。(11H 不)

『王様ゲーム』 金沢 信明著

王様が一体どこの誰なのか、目的は何なのか、最後まで全くわからないところがおもしろいです。(14H 大宮)

ちょこっと

図書館学 ~その3~

図書館では、情報を探すための「道具」をそろえています。

それは、レファレンス資料と呼ばれるものです。

あなたが、もし「羊頭 狗肉」の意味が

わからなかったら、手近な国語辞典を引くと思います。五十音で探せば、すぐに見

つかるでしょう。小説のように全体を通読するのではなく、国語辞典のように、何

か知りたいことがらを調べるための資料をレファレンス資料と呼んでいます。レファレ

ンス資料には、百科事典、電話帳など良く知られているものから、特定の分野の専門事典、辞典

地図帳、年鑑など様々なものがあります。「ありえない」は『現代用語の基礎知識』にその意味

が載っています(信じられない、不可能だ、無理だ、非常識だ)。「GPS」はカタカナ語・略

語辞典にその意味が載っています(全地球測位システム)。金商図書館では、みなさんがいつでも

問題を解決できるように、学習室にレファレンス資料を配架しています

